

「目の前にあるのに拾わないなんてもったいない」

大阪で一緒に働いていた国語の先生から教えてもらった話を紹介します。

ある村に神様がやってきました。  
その神様は村人にこう言いました。  
「明日の朝から夕方まで石を拾いなさい。次の日うれしくなると同時に悔しい思いをするだろう。」

村人たちは「石を?」「変な話だなあ。」と言いました。でも朝になり、みんなで石を拾いました。  
ほとんどの人は「ま、神様のいうことだから仕方ない。拾おうや。」と言いました。  
ある者は、朝に1個拾って休み、昼に一個拾って休み、2個しか拾いませんでした。

次の日の朝起きて、その拾った石を見てみると、なんと石がすべてダイヤモンドにかわっているではありませんか。村人はうれしくなり飛び跳ねました。

でも次の瞬間、  
「なんでもっと、、、なんで、もっと石を拾わなかったんだろう。」と、とても悔しい思いをしました。  
神様が言った通り、「うれしくなると同時に悔しい思いをするだろう」が起こったのです。  
2個しか拾わなかった村人の悔しがりようといったらありませんでした。

これを読んであなたはどんなことを考えましたか。

この「次の日朝起きて」というのを「数か月たって」「大人になって」と考えてみましょう。「石を拾うこと」を例えば「朝学」とか「勉強」とか「ドラゴンテスト」「本気テスト」に置き換えてみましょう。つまり、石を拾えば、みんなの中にダイヤモンドがいっぱいたまるのです。「石拾い」をしなかった人は、時がたってからダイヤモンドが少ししかたまってないことに気が付くのです。あとになって「あの時やっておけばよかった・・・」と悔しい思いをするはずです。今はみんなの前にはただの石にしか見えないものでも、神様の目にははっきりとしダイヤモンドに映っています。目の前にあるのに、すぐそこにあるのに拾わないなんてもったいない!!

「ドラゴンテスト」や「本気テスト」で一回一回丁寧に勉強して満点を積み重ねている人は、今は石でもその積み重ねがきつとダイヤモンドになるでしょう。だからこそ今頑張してほしい!!

テストが続き、3年生にとっては試練の時です。でも石を拾っているのは自分だけではありません。辛いのはあなただけではありません。周りにいる仲間と一緒に、「いつかはダイヤモンドに変わるんだ!」と励まし合いながら試練を乗り越えて行ってほしいと願っています。

## うめのみ杯

8月に太宰府市うめのみ杯(英語暗唱大会)が行われました。3年生は3名出場し、見事に賞を獲得しました。今回頑張ったことは、きっと素晴らしいダイヤモンドになるでしょう!おめでとうございます!!

【暗唱の部】最優秀賞                      さん、 奨励賞                      さん

【スピーチの部】優秀賞                      さん

## 文化発表会に向けて

10月22日に文化発表会があります。先日スローガンが決定しました。

「煌(きらめき)～華やかに彩り、想いをつなぐ太西星～」

昨年度に続きステージ発表や展示もあり文化発表会を楽しく盛り上げることでしょう。共同制作ではハンドスタンプアートに挑戦します!!完成が楽しみです。

【実行委員長】                                      【副実行委員長】

【実行委員】

## 10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 学力テスト 国数社理英	2
3 	4 月12345火6	5 前期終業式 生徒会退任式 火123式ガ	6 秋休み (~10/11)	7 	8 	9 
10 	11 	12 後期始業式 生徒会認証式 式火145学	13 道金12345	14 木1234授総	15 金12345	16
17	18 月12345	19 火1234道	20 道水2346	21 木123火6行	22 文化発表会 金345行行行	23 
24 	25 暴力団排除教室 月12345学	26 火123456	27 授水 2356総	28 木1234授	29 専門委員会 金12345	30 
31						

【保護者の皆様へ】

いつも本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。学校では子どもたちは一生懸命に勉強しています。テストが続くことで、気持ちが不安になることもあると思いますが、ご家庭でも励ましていただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。